

KIT 男女共同参画推進センター 平成 26 年度活動報告書



京都工芸繊維大学

目次

平成 26 年度

活動年表	2
活動報告	
ライフイベント期間中の両立支援	4
研究支援員制度	
ベビーシッター育児支援制度	
両立支援相談	
男女共同参画の意識啓発と情報発信	5
KIT 男女共同参画推進センターセミナー	5
意識調査・クロス集計報告	11
ニュースレター	18
女性教職員のネットワーク構築	20
学外ネットワーク構築	21
理系女子の裾野拡大	22
関連資料	
京都工芸繊維大学における女性の割合	23
KIT 男女共同参画推進センター参考図書	25
KIT 男女共同参画推進センター構成	26

◆平成 26 年度 活動年表◆

月	活動内容
4月	<ul style="list-style-type: none"> ・平成 26 年度前期研究支援員の雇用開始（1 日） ・女性教員交流会の開催（18 日）
5月	<ul style="list-style-type: none"> ・第 8 回 KIT 男女共同参画推進センター会議（19 日） ・名古屋工業大学と意見交換（16 日） ・日本学術会議フォーラムへ参加（31 日）
6月	<ul style="list-style-type: none"> ・ランチミーティングの開催（24 日）
7月	<ul style="list-style-type: none"> ・KIT 男女共同参画推進センタートップセミナーの開催（3 日） ・ランチミーティングの開催（24 日） ・三大学教養教育共同化授業（京都府立大学）でセンターの取組紹介（24 日）
8月	<ul style="list-style-type: none"> ・平成 24 年度・平成 25 年度活動報告書発行（20 日） ・女子中高生対象「KIT サイエンスガール 1 日体験講座」の実施（23 日） ・女性教職員対象「WLB ミニ講座 2014」の開催（25 日） ・KIT 男女共同参画推進センター通信ニュースレター第 5 号発行（29 日）
9月	<ul style="list-style-type: none"> ・第 9 回 KIT 男女共同参画推進センター会議（5 日・メール会議） ・ランチミーティングの開催（19 日） ・一橋大学と意見交換（26 日）
10月	<ul style="list-style-type: none"> ・平成 26 年度後期研究支援員の雇用開始（1 日） ・KIT 男女共同参画推進センター第 6 回セミナーの開催（10 日） ・独立行政法人科学技術振興機構 訪問調査（15 日） ・女性教員限定公募【梅檀プログラム】の実施（15 日～11 月 28 日） ・京都女性活躍加速化事業（主催：京都府・京都市）へ参画（26 日）
11月	<ul style="list-style-type: none"> ・KIT 男女共同参画推進センター第 7 回セミナーの開催（11 日） ・女性教員交流会の開催（19 日） ・文部科学省「女性研究者研究活動支援事業シンポジウム 2014」へ参加（26 日）
12月	<ul style="list-style-type: none"> ・4 大学連携研究フォーラムへポスター出展（2 日） ・国立女性教育会館「平成 26 年度大学等における男女共同参画推進セミナー」へ参加（4 日～5 日） ・第 10 回 KIT 男女共同参画推進センター会議（24 日） ・KIT 男女共同参画推進センター通信ニュースレター第 6 号発行（26 日）
1月	<ul style="list-style-type: none"> ・独立行政法人科学技術振興機構 女子中高生の理系進路選択支援プログラム成果報告会へ参加（28 日）
2月	<ul style="list-style-type: none"> ・男女共同参画に関する意識調査のクロス集計報告（18 日）
3月	<ul style="list-style-type: none"> ・KIT 男女共同参画推進センター 女性研究者研究活動支援事業 総括セミナーの開催（3 日） ・SGU - COC ジョイントフォーラム 2015・ポスターセッション出展（17 日） ・平成 26 年度活動報告書発行（27 日）

7月：トップセミナー



8月：KIT サイエンスガール 1 日体験講座



8月：WLB ミニ講座 2014



10月：第6回セミナー



10月：京都女性活躍加速化事業



11月：第7回セミナー



11月：文科省「女性研究者シンポジウム 2014」ポスター出展



3月：総括セミナー



◆平成 26 年度活動報告 ライフイベント期間中の両立支援◆

研究支援員制度

出産・育児や介護期にある女性研究者等の研究活動を支援するため、大学院生等を研究支援員として配置することによって、研究活動の継続・進展を図る制度です。平成 26 年度は、前期と後期に利用者の学内公募を行いました。

【利用実績】

利用年度	利用教員数	利用事由
平成 26 年度前期	12 名（男性 2 名、女性 10 名）	育児：10 名 介護：2 名
平成 26 年度後期	11 名（男性 2 名、女性 9 名）	育児：10 名 介護：1 名

【制度利用者の声（一例）】

教員：「子育て中で時間のない夕方に、実験やデータ分析等の補助をしてもらい、大変助かった。」
「研究支援員の配置のおかげで、プロジェクトの準備が進み、国際学会でも複数回研究発表ができた。」
「支援を受けることで、文献整理及び資料作成など基礎作業を効率的に進めることができた。また、専門性を有した助力を得ることで期待以上の効果があった。」

支援員：「目指す教員としてのキャリアを積む良い経験となり、また経済的にも大変助かった。」
「女性も男性と同じように仕事を持ち、また男性も家庭への参加が増えてきている今、両立されている先生を身近で見ることができて、いい経験になった。」
「任された役割、仕事、段取りなどについて、意識的に行えるようになった。」

ベビーシッター育児支援制度

一般財団法人こども未来財団の「ベビーシッター育児支援事業」によるベビーシッター費用の一部を補助（割引券）する本学の自主制度。

両立支援相談

センターコーディネータが出産・育児・介護などライフイベント上の悩みや相談に対応。

【利用実績】 相談件数：3 件

◆平成 26 年度活動報告 男女共同参画の意識啓発と情報発信◆

【KIT男女共同参画推進センターセミナー実施一覧】

回	開催日	テーマ	参加者数
トップセミナー	7月3日(木)	女性研究者支援の推進と大学の活性化	27名
WLBミニ講座	8月25日(月)	女性対象：女性の健康—変化とケア	12名
第6回セミナー	10月10日(金)	未来を創る理系のキャリアデザイン	約45名
第7回セミナー	11月11日(火)	未来を創る理系のキャリアデザイン	約45名
総括セミナー	3月3日(火)	大学における女性研究者支援と男女共同参画推進の今後	約50名

KIT男女共同参画推進センター トップセミナー

本学での女性研究者研究活動支援事業の推進と目標達成に向けて、トップセミナーを開催しました。

日 時：平成 26 年 7 月 3 日 (木) 13:30～14:30

場 所：京都工芸繊維大学 60 周年記念館 2 階 セミナー室

テーマ：「女性研究者支援の推進と大学の活性化」

対 象：学長、理事、研究科長、学系長、部門長など

<プログラム>

○開会挨拶 KIT男女共同参画推進センター長(副学長) 森迫 清貴

○講 演 独立行政法人科学技術振興機構 プログラムオフィサー 山村 康子 氏
「女性研究者支援の推進と大学の活性化」

○学長挨拶 古山 正雄



講師：山村 康子氏

KIT 男女共同参画推進センター WLB ミニ講座 2014

女性特有の健康（身体）の変化やケアについて知識と理解を深め、ワークライフバランスに役立てるため、女性教職員を対象にミニ講座を開催しました。

日 時：平成 26 年 8 月 25 日（月）14：00～15：00

場 所：京都工芸繊維大学 60 周年記念館 2 階 セミナー室

テーマ：「女性の健康—変化とケア」

対 象：女性教職員

<プログラム>

○開会挨拶 学長補佐（男女共同参画担当）・本学大学院工芸科学研究科教授 大柴 小枝子

○講 演 京都府立医科大学医学部教授 松岡 知子 氏

「女性の健康—変化とケア」

○質疑応答、意見交換

※センター HP <育児・介護支援>のページに講座資料を掲載しています。

<http://www.sankaku.kit.ac.jp/care/guide.html>



講師：松岡 知子 氏

KIT 男女共同参画推進センター 第 6 回セミナー

理系の仕事やキャリアデザイン、仕事と生活の両立（ワークライフバランス）について、企業や研究機関で活躍の先輩女性を招いて、セミナーを開催しました。

日 時：平成 26 年 10 月 10 日（金）16：00～18：00

場 所：京都工芸繊維大学 60 周年記念館 2 階 大セミナー室

テーマ：「未来を創る理系のキャリアデザイナー—その生かし方」

<プログラム>

○開会挨拶 KIT 男女共同参画推進センター長（副学長） 森迫 清貴

○講 演 I 株式会社イトーキ 販促プロモーション企画推進部 藤田 奈津子 氏

「子育てと仕事と日々のいろいろ」

○講 演 II 株式会社大塚製薬工場 ライセンス部長 榊原 泉 氏

「多様なキャリアの生かし方」

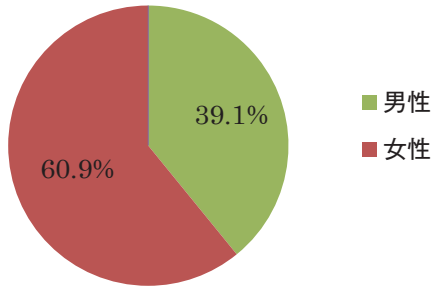
○閉会挨拶 本学大学院工芸科学研究科教授 亀井 加恵子

意見交換会（交流会） 京都工芸繊維大学 60 周年記念館

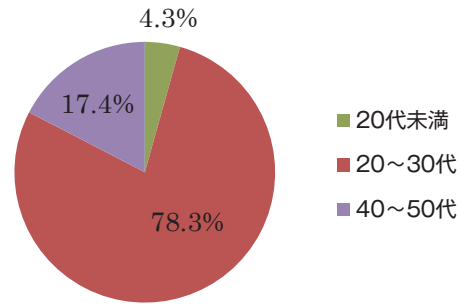


<参加者アンケート結果> ※回収率 53.5%

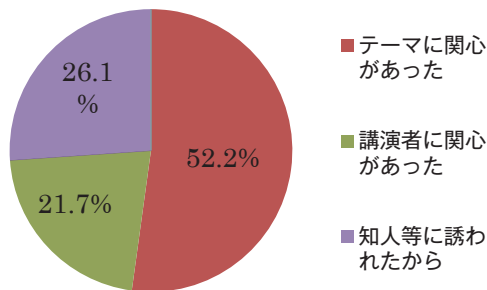
あなたの性別



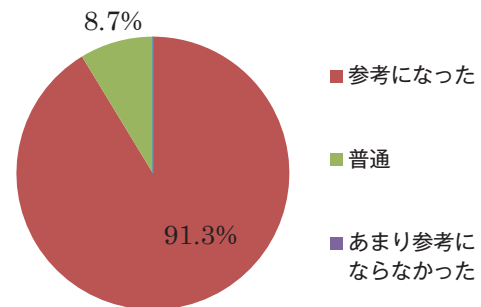
あなたの年齢



本日のセミナーに参加された動機



本日のセミナーについて



自由記述（一部抜粋編集）

- ・アンテナを張りめぐらせて情報網を広げるということを意識付けていくようにしたいと思いました。
- ・お二方ともとても力強く、キャリアを積まれていると感じました。大変パワーを頂きました。いいセミナーをありがとうございました。
- ・同じ女性として理系で活躍する方の話を聞いて、将来の視野が広がりました。活き活きと話される姿が印象的でした。モチベーションを上げることの大切さがわかり、がんばろうという気持ちになりました。このセミナーに参加してよかったです。

KIT 男女共同参画推進センター 第7回セミナー

企業や研究機関で活躍されている先輩女性のキャリアヒストリーから、理系女性の働き方や生き方、キャリアデザインについて考えてみるセミナーを開催しました。

日 時：平成 26 年 11 月 11 日（火）16：00～18：00

場 所：京都工芸繊維大学 60 周年記念館 2 階 大セミナー室

テーマ：「未来を創る理系のキャリアデザイン—その多様性と可能性」

<プログラム>

○開会挨拶 KIT 男女共同参画推進センター長（副学長） 森迫 清貴

○講 演 I パナソニック株式会社 R&D本部 先端技術研究所

グループマネージャー 山田 由佳 氏

「“できる”を“できた”に・・・その感動がやみつきに」

○講 演 II 同志社大学大学院総合政策科学研究科教授・株式会社ユーディット会長 関根 千佳 氏

「人と技術のやさしい未来～志による社会変革～」

○閉会挨拶 学長補佐（男女共同参画担当）・本学大学院工芸科学研究科教授 大柴 小枝子

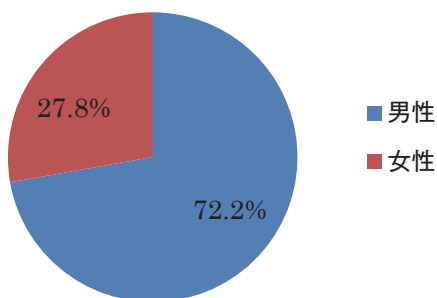
意見交換会（交流会） 京都工芸繊維大学 60 周年記念館



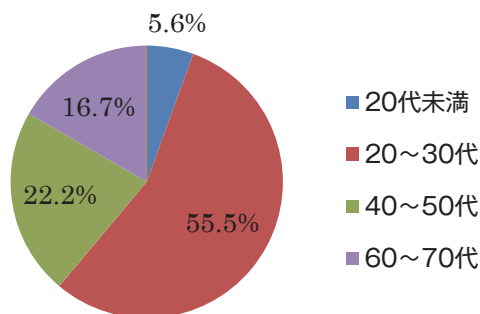
11月11日 平成26年 16:00
18:00
京都工芸繊維大学60周年記念館
2階 大セミナー室 (京都府京都市北区上田町)
プログラム
16:00 開会挨拶 KIT男女共同参画推進センター長 / 森迫 清貴 (副学長)
16:05 講演 I 「“できる”を“できた”に・・・その感動がやみつきに」 (パナソニック株式会社 R&D本部 先端技術研究所 グループマネージャー) 山田 由佳 氏
17:00 講演 II 「人と技術のやさしい未来～志による社会変革～」 (同志社大学大学院総合政策科学研究科教授・株式会社ユーディット会長) 関根 千佳 氏
18:00 閉会挨拶 本学大学院工芸科学研究科教授 / 大柴 小枝子
 ※セミナー終了後、意見交換会(交流会)を行います。
 会場：京都工芸繊維大学の60周年記念館 2階 大セミナー室
事前申し込み不要
入場無料・定員超過
少人数キャンパス
 京都府京都市北区上田町1-10-1
 〒616-8501
 TEL 075-724-7767
 FAX 075-724-7767
 URL http://www.kit.ac.jp

<参加者アンケート結果> ※回収率 43.9%

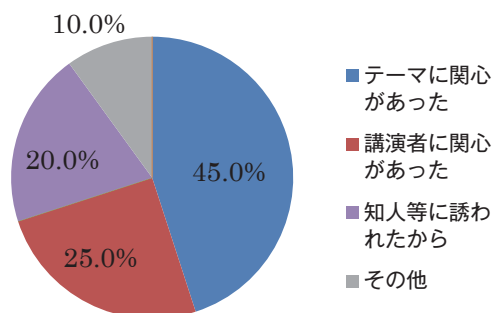
あなたの性別



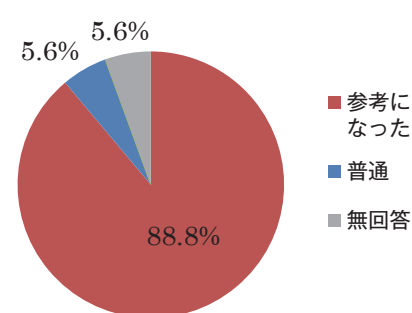
あなたの年齢



本日のセミナーに参加された動機



本日のセミナーについて



自由記述（一部抜粋編集）

- ・理系女子の企業社会人生がお二人から紐とかれた。
- ・専業主婦だけではなく、世界で活躍出来る人は一生働く事が意義があり、日本女性が輝く人生をおくることが価値があると思う。
- ・自分の発想にない考えを聞くことができ大変参考になりました。
- ・会社の研究所では夢の挑戦、努力だけではなく、成果を見せ、さらに事業に役立てることが仕事であるとわかりました。自分も来年から社会に出るので、身が引き締まりました。

KIT男女共同参画推進センター 女性研究者研究活動支援事業 総括セミナー

平成 24 年度文部科学省科学技術人材育成費補助事業「女性研究者研究活動支援事業」に採択され、女性研究者が出産、育児、介護などのライフイベントと研究を両立するための支援に取り組んできました。また男女ともにひとりひとりの仕事と生活の上に、その能力が最大限発揮できる環境整備や意識啓発に努めてきました。その3年間の事業を振り返り、今後の継続とさらなる推進に向けて、総括セミナーを開催しました。

日 時：平成 27 年 3 月 3 日（火）14：30～16：30

場 所：京都工芸繊維大学 60 周年記念館 2 階 大セミナー室

テーマ：「大学における女性研究者支援と男女共同参画推進の今後」

<プログラム>

○開会挨拶 学長 古山 正雄

○基調講演 文部科学省 科学技術・学術政策局 人材政策課長 片岡 洋 氏
「研究環境のダイバーシティ実現に向けて」

○取組報告 KIT男女共同参画推進センター長（副学長） 森迫 清貴

○研究支援員制度利用報告

本学工芸科学研究科物質工学部門 准教授 吉田 裕美

工芸科学研究科建築学部門 准教授 清水 重敦

工芸科学研究科言語・文化部門 准教授 竹井 智子

○講 評 独立行政法人科学技術振興機構 プログラムオフィサー 山村 康子 氏

○閉会挨拶 学長補佐（男女共同参画担当）・本学大学院工芸科学研究科教授 大柴 小枝子



開会挨拶：古山学長



基調講演：片岡人材政策課長



取組報告：森迫センター長



講評：山村プログラムオフィサー

国立大学法人 京都工芸繊維大学
KIT 男女共同参画推進センター
女性研究者研究活動支援事業 総括セミナー

大学における女性研究者支援と 男女共同参画推進の今後

日時 平成 27年 3月 3日(火) 14:30 ~ 16:30
会場 京都工芸繊維大学60周年記念館 2階 大セミナー室
京都市左京区松ヶ崎橋上町

京都工芸繊維大学では、平成24年度文部科学省科学技術振興機構補助事業「女性研究者研究活動支援事業」に採択されたことを契機に、女性研究者が活躍、子育て、介護などライフイベントと研究を両立するための支援に取り組んでまいりました。
また、全国的に大学が男女共同参画推進の取組を進め、その取組を最大限発揮できる環境整備や意識啓発に努めてまいりました。その3年間の事業を振り返り、今後の継続と男女共同参画のさらなる推進に向けて、総括セミナーを開催いたします。

要参加
不要
入場無料
来場歓迎

プログラム

14:30	開会挨拶	京都工芸繊維大学 古山 正徳
14:40	基調講演	【研究環境のダイバーシティ実現に向けて(仮)】 文部科学省 研究政策 学術政策課 人材政策課(予定)
15:10	取組報告	KIT 男女共同参画推進センター長 森迫 清美
15:35	研究支援員制度利用報告	京都工芸繊維大学 工学部 工学系 工学系研究科物産工学部門 准教授 吉田 裕美 工学系研究科建築学部門 准教授 清水 重教 工学系研究科情報学部門 准教授 竹井 穂子
16:05	講評	協賛校(人)科学技術振興機構 科学技術政策課 科学技術政策課 山村 康子 氏 プログラム主任 山村 康子 氏
16:20	閉会挨拶	京都工芸繊維大学 学務部長(男女共同参画推進) 野村 光穂 小枝子

主催 財団法人 京都工芸繊維大学 KIT 男女共同参画推進センター
TEL:075-8560 京都府京田辺市60-7 橋上町 TEL/FAX:075-724-7757
Mail: kit@ipc.kit.ac.jp
http://www.kit.ac.jp

協賛校
文部科学省 研究政策 学術政策課 人材政策課(予定)
科学技術振興機構 科学技術政策課 科学技術政策課
京都工芸繊維大学 学務部(男女共同参画推進)

会場
〒616-8501 京都府京田辺市60-7 橋上町
TEL/FAX:075-724-7757
http://www.kit.ac.jp



研究支援員制度利用報告：吉田准教授、清水准教授、竹井准教授

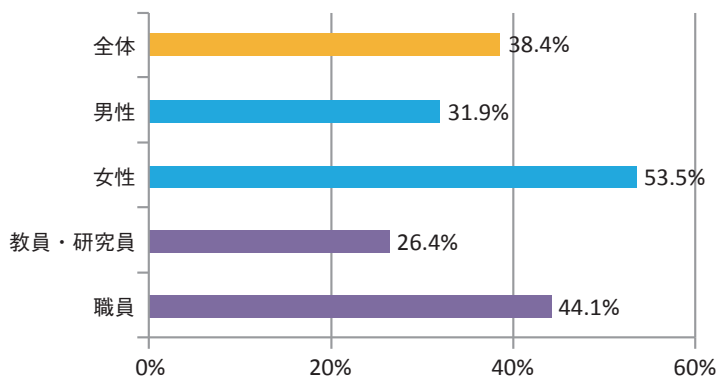
意識調査・クロス集計報告

平成 25 年 7 月に実施した男女共同参画に関する意識調査の下記項目について、クロス集計（性別・職種別）を行いました。

- 対 象：教職員
- 対象者数：565 名
- 調査方法：無記名アンケート方式
- 実施期間：平成 25 年 7 月 1 日（月）～7 月 31 日（水）
- 回 答 数：217 名 回収率：38.4%

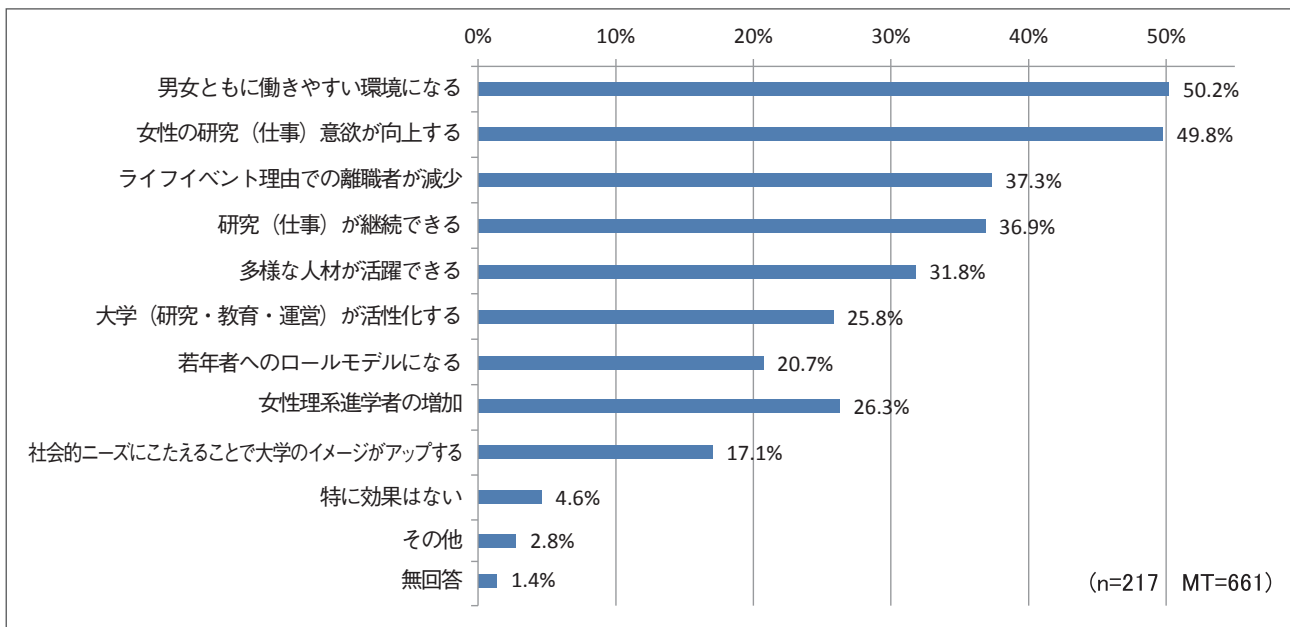
【回答率（性別・職種別）】

(n= 母数 MT= 複数回答の合計数 ※小数第 1 位までの表記)

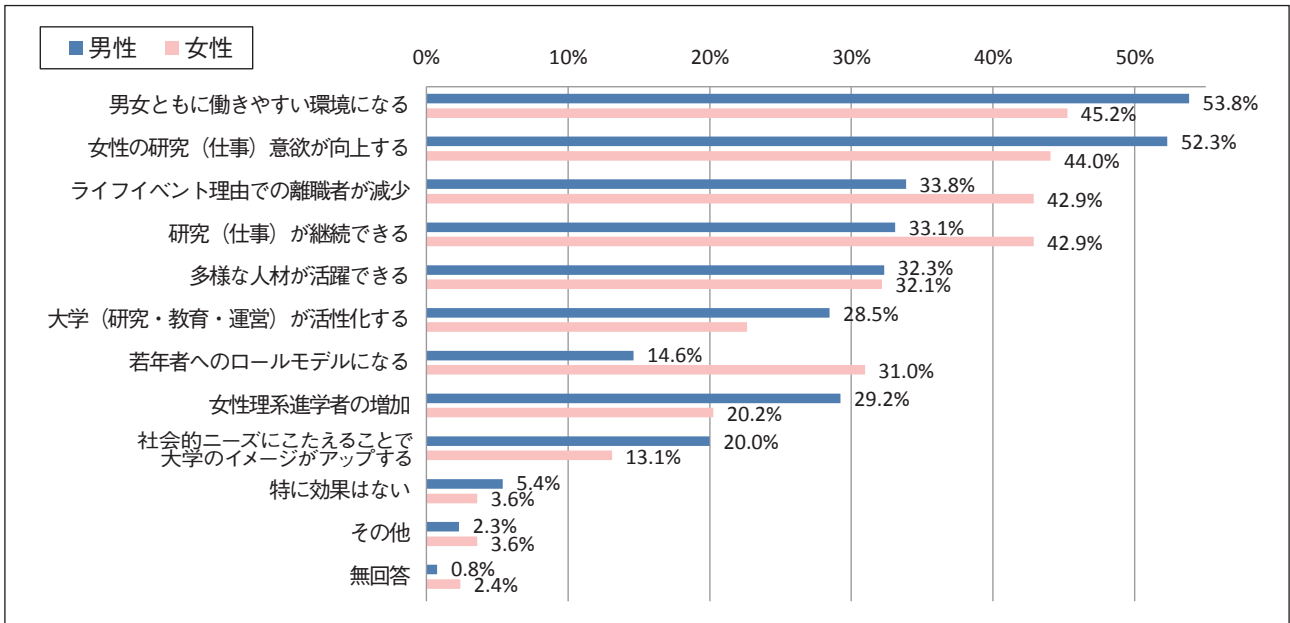


◆男女共同参画についてお尋ねします。

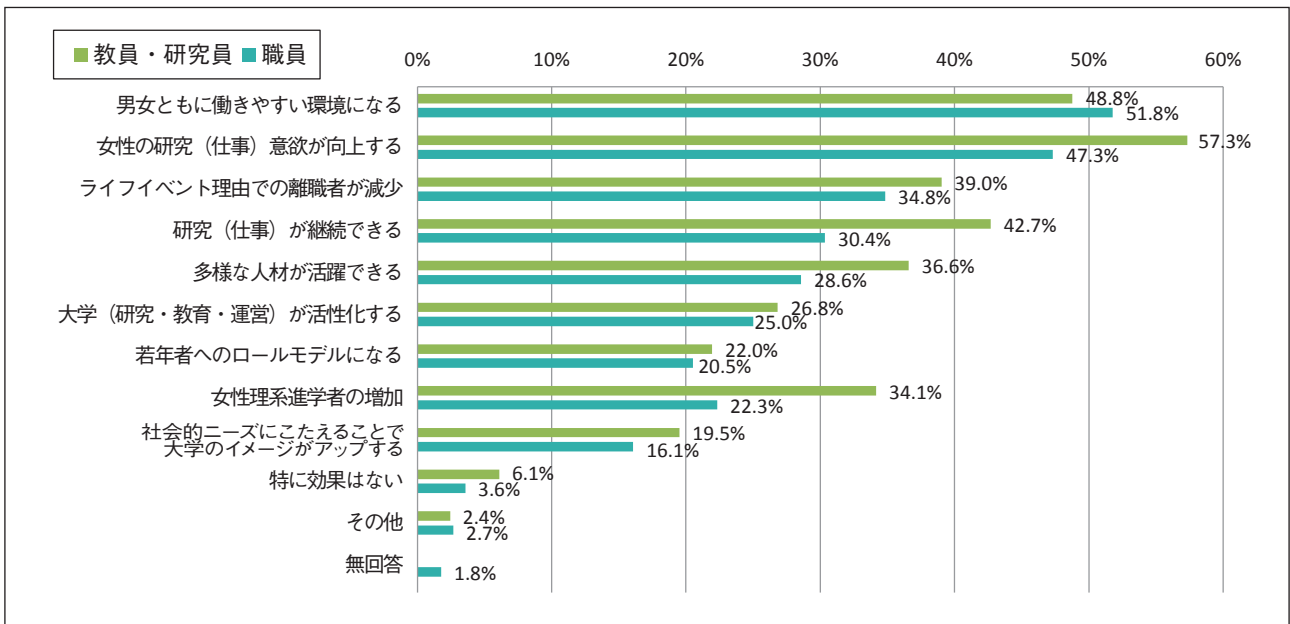
Ⅲ - Q 2. 本学で男女共同参画を推進することにはどのような効果があると思いますか。（複数回答可）



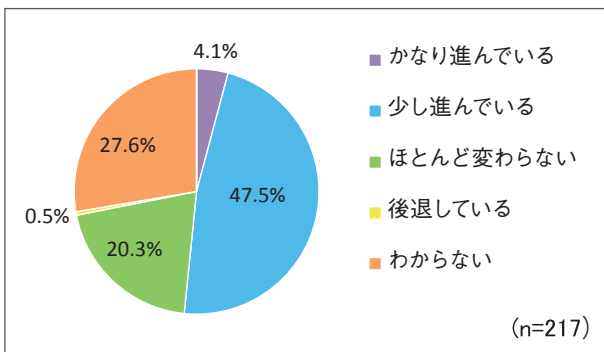
【Ⅲ-Q2 性別回答率】



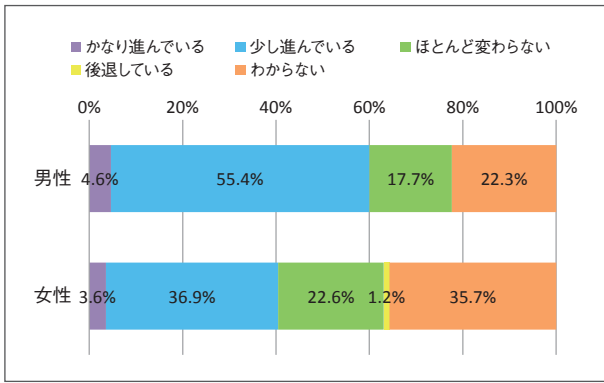
Ⅲ-Q2 職種別回答率



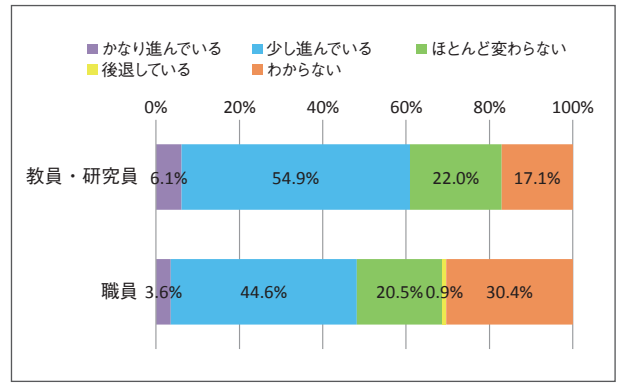
Ⅲ-Q4. 本学の男女共同参画の進展度についてどう思いますか。



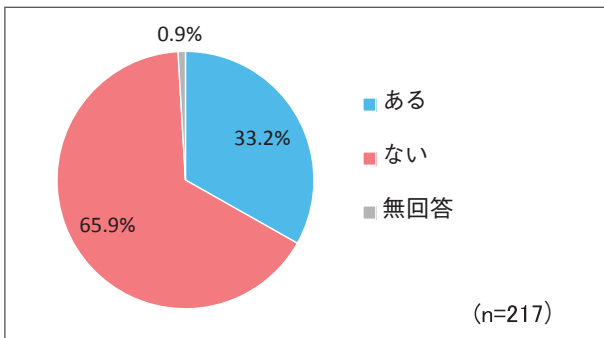
【Ⅲ-Q4 性別回答率】



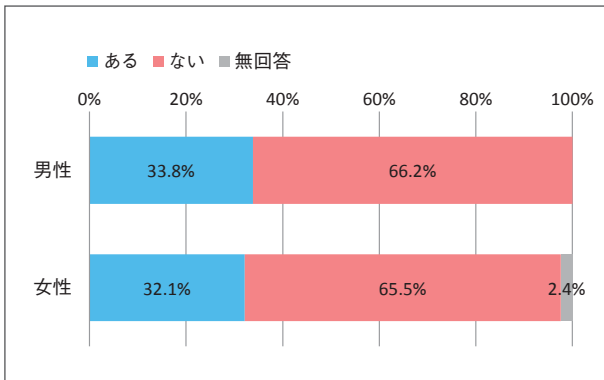
【Ⅲ-Q4 職種別回答率】



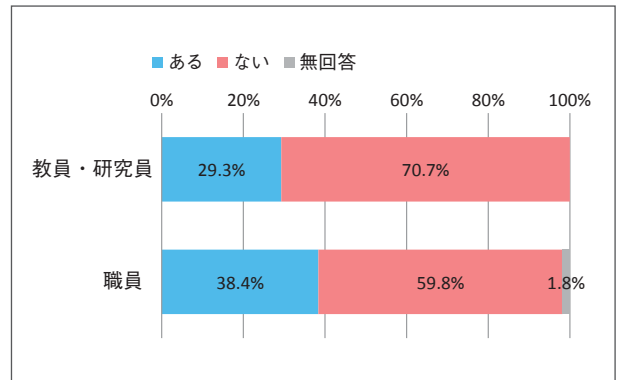
Ⅲ-Q5. 本学での業務上（職務上）での男女差を感じたことはありますか。



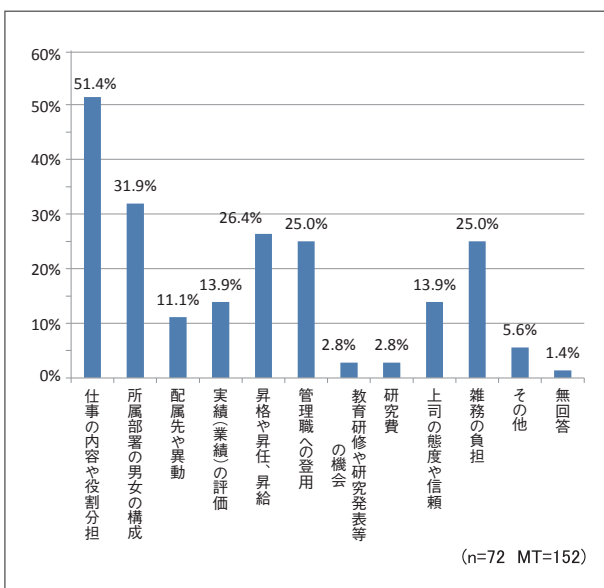
【Ⅲ-Q5 性別回答率】



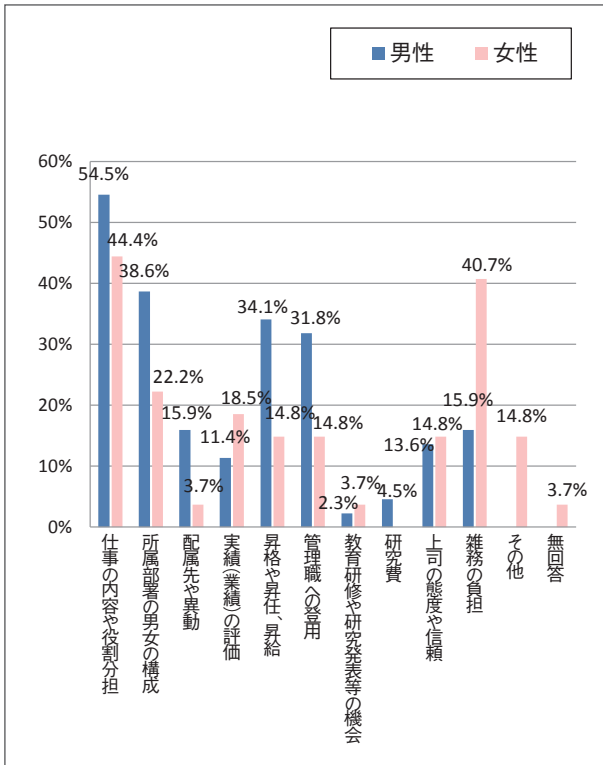
【Ⅲ-Q5 職種別回答率】



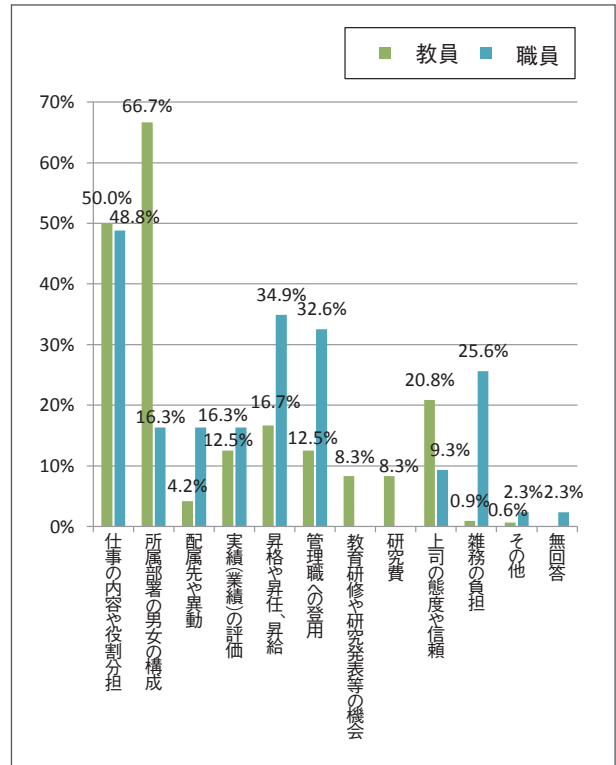
Ⅲ-Q6. 上記で「ある」と答えた方にお伺いします。それはどのような点ですか。（複数回答可）



【Ⅲ-Q6 性別回答率】

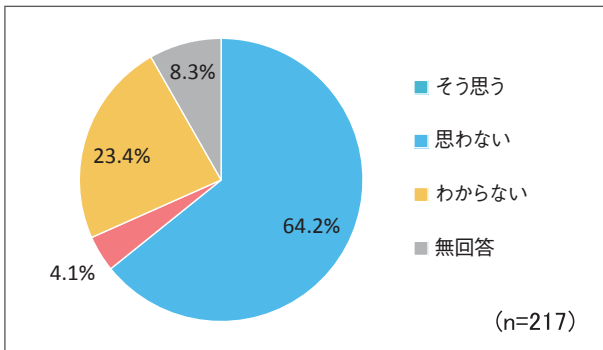


【Ⅲ-Q6 職種別回答率】



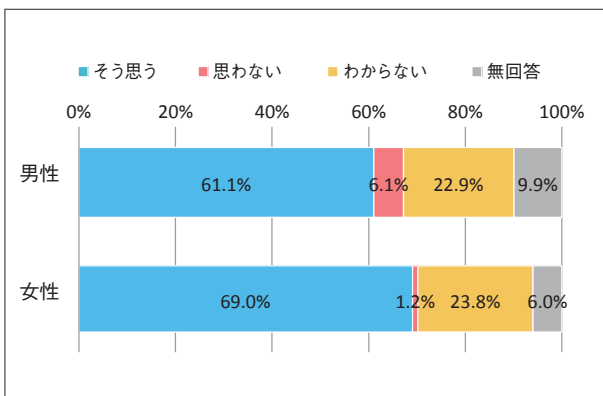
仕事と生活の両立についてお尋ねします。

IV-Q3. 育児または介護中も仕事(研究)を継続したい(したほうがいい)と思いますか。

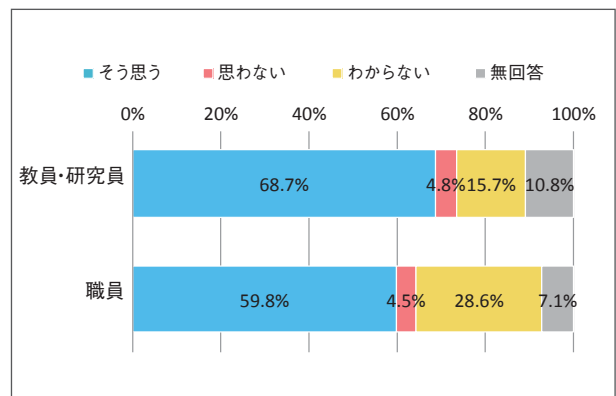


IV-Q3. 育児または介護中も仕事(研究)を継続したい(したほうがいい)と思いますか。

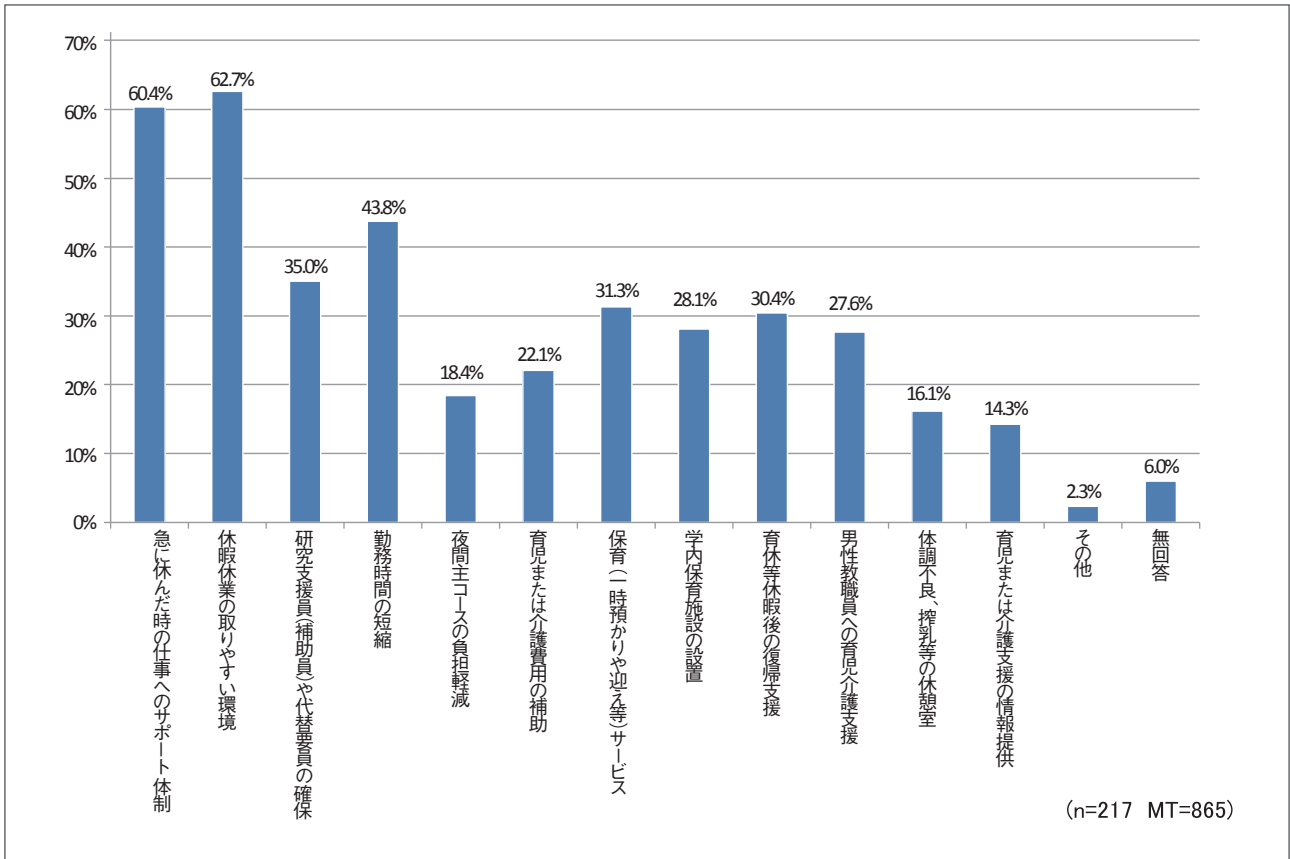
【IV-Q3 性別回答率】



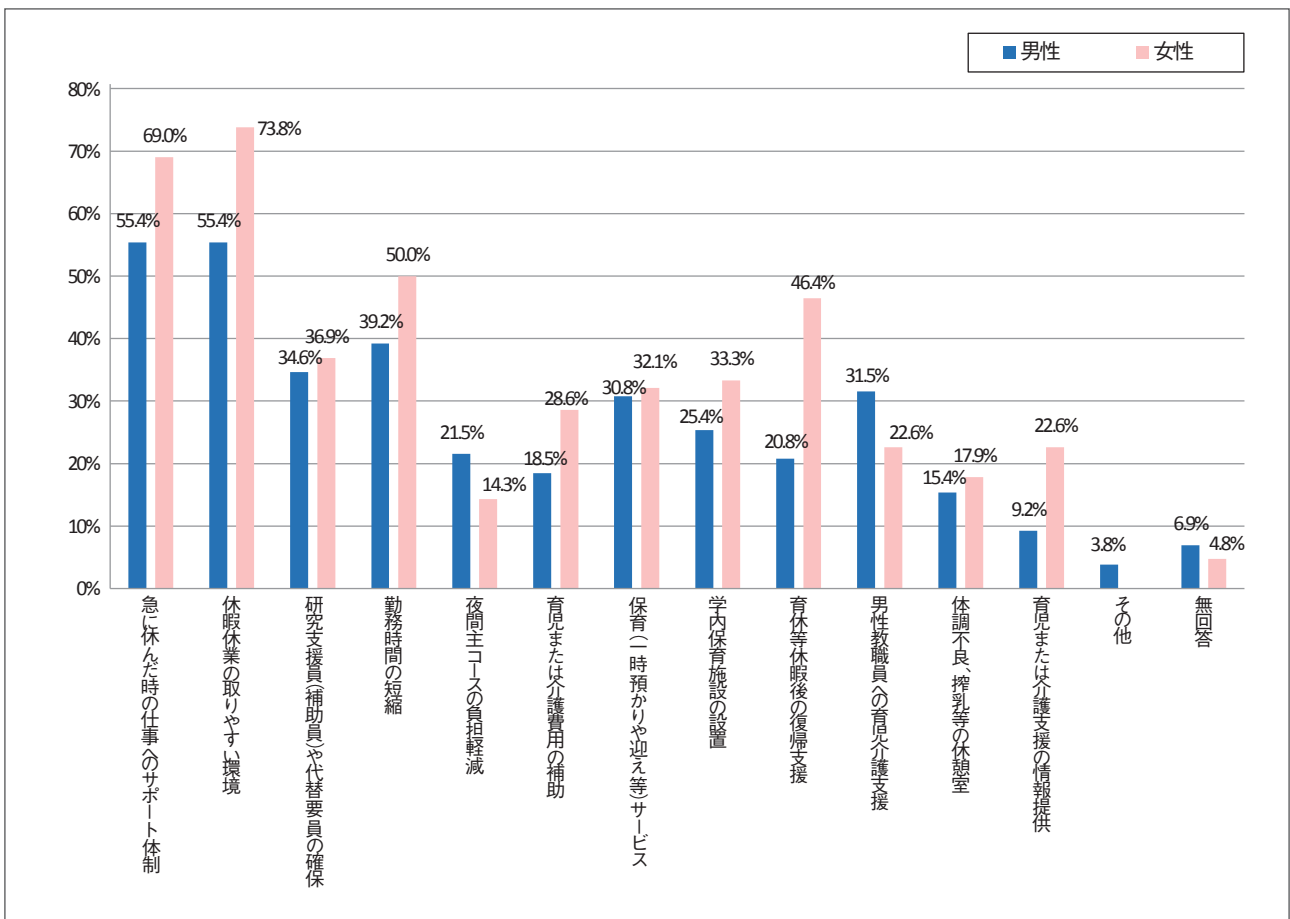
【IV-Q3 職種別回答率】



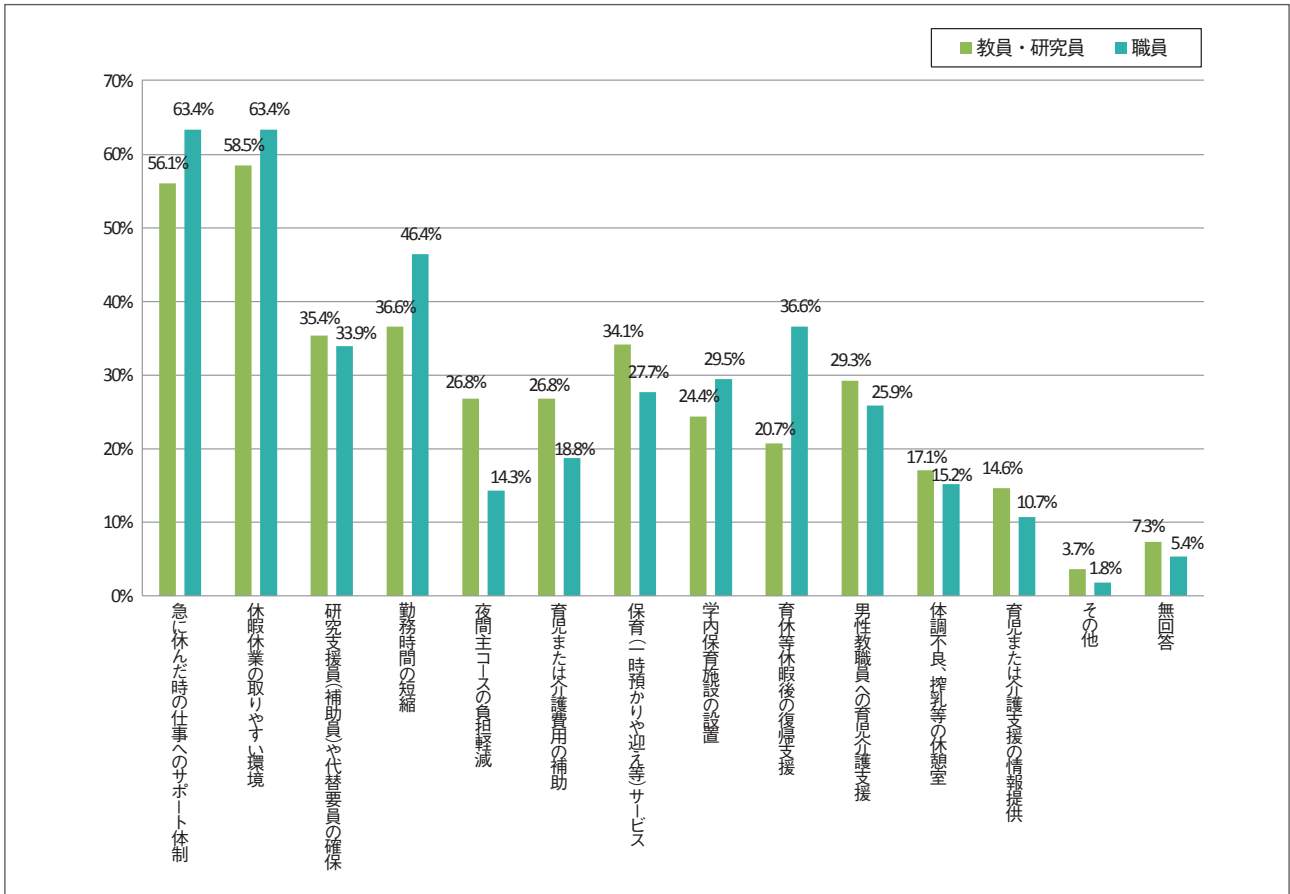
IV-Q4. 育児または介護中にはどのような支援が必要だと思いますか。(複数回答可)



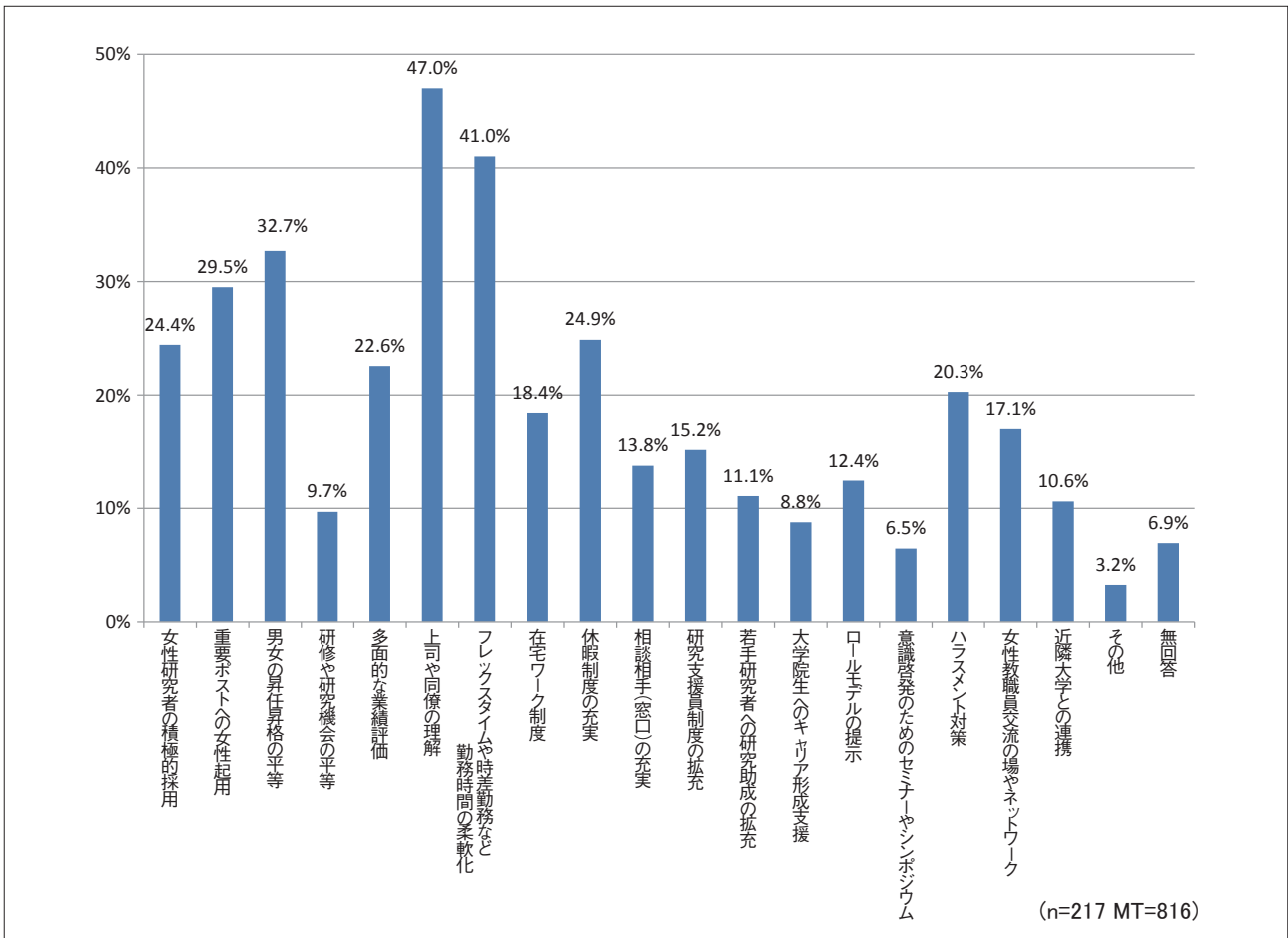
【IV-Q4 性別別回答率】



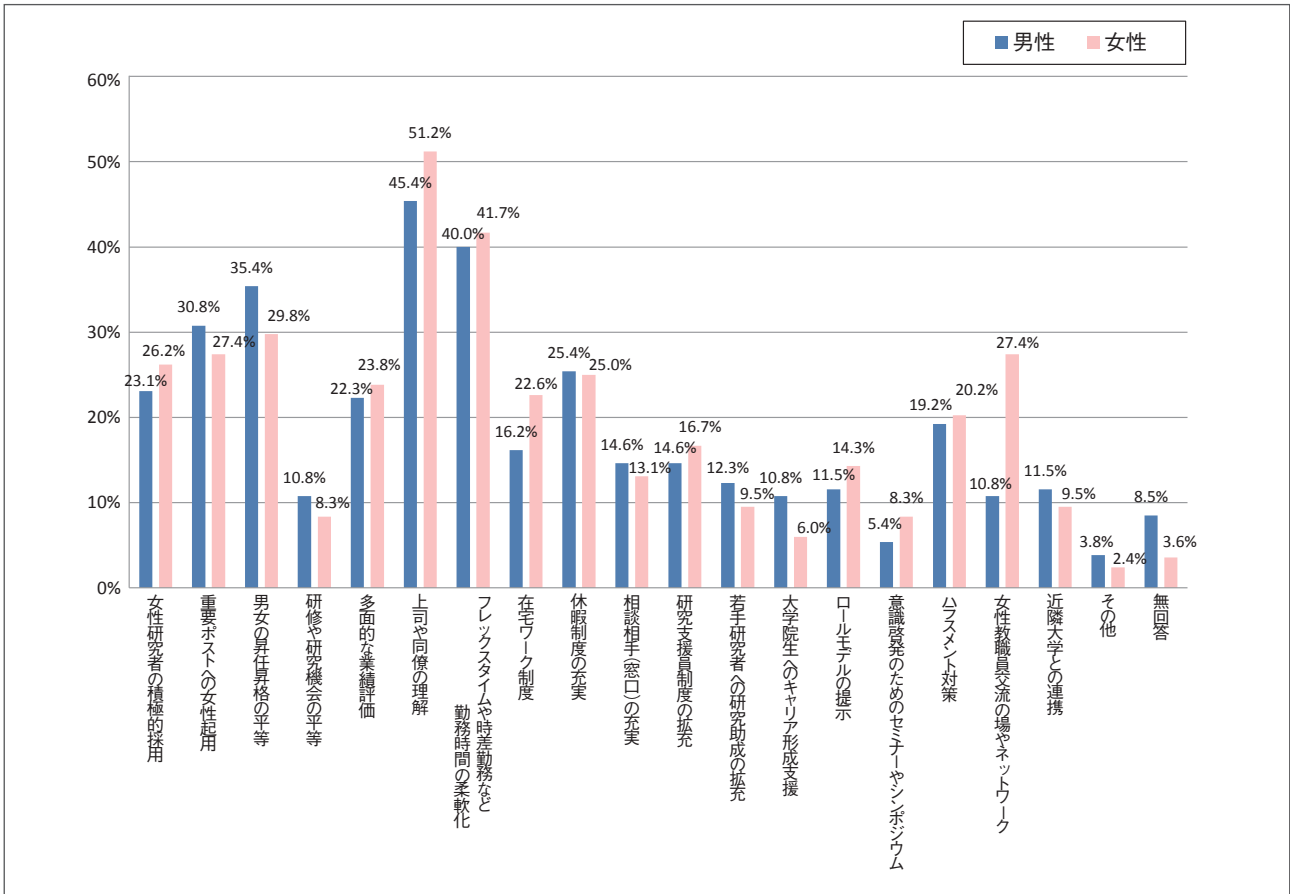
【IV-Q4 職種別回答率】



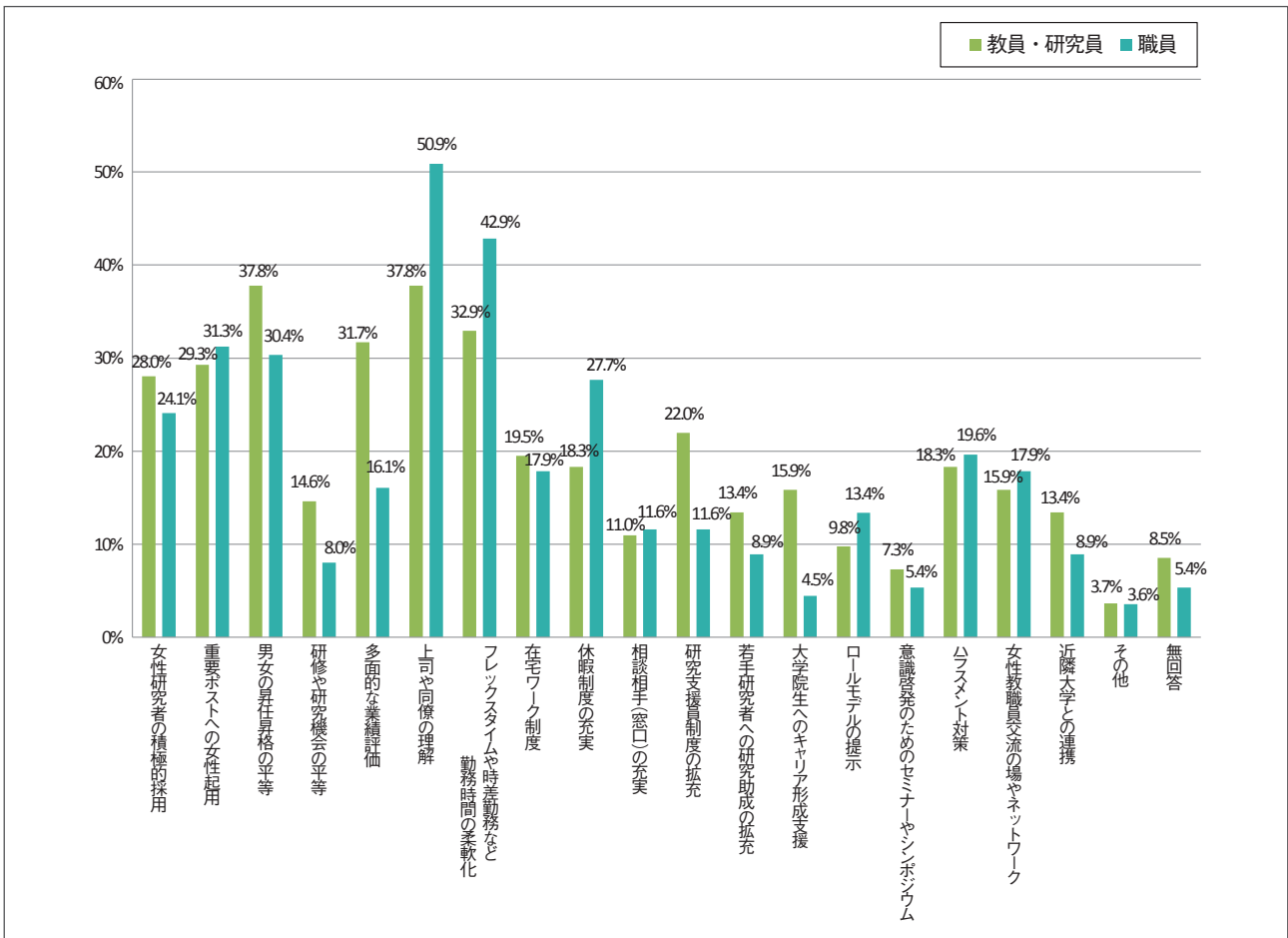
IV-Q5. 本学において男女共同参画推進のために、どのような対策や支援制度が必要だと思いますか。(複数回答可)



【IV - Q 5 性別回答率】



【IV - Q5 職種別回答率】



活動報告

●「仕事と育児・介護の両立支援ガイドブック」の発行

仕事と育児・介護の両立に関する学内制度や支援情報をわかりやすく1冊にまとめたガイドブックを発行しました。

<主な内容>

- ・学内制度一覧
- ・妊娠、出産、育児期に利用できる制度と手続き
- ・介護期に利用できる制度と手続き
- ・地域における支援やサービス など

●「活動報告書（平成24年度・平成25年度）」の発行

KIT男女共同参画推進センターの平成24年度、平成25年度の活動状況をまとめた報告書を行いました。

※両立支援ガイドブック、活動報告書の内容は、センターHPにも掲載しています。



～応援します！研究と生活の両立～

NEWS LETTER

KIT 男女共同参画推進センター通信

第5号
2014.08

インフォメーション

○KIT男女共同参画推進センターセミナーの予告

平成26年10月10日（金）と11月11日（火）、本学にて「未来を創る理系のキャリアデザイン」（仮）と題して、企業や研究機関で活躍されている先輩女性をお招きして、セミナーを開催します。詳細はチラシやホームページ等でご案内します。どうぞご期待ください。

○内閣府「理工チャレンジ」サイトにメッセージ掲載

「理工チャレンジ（リコチャレ）～女子高校生・女子学生の理工分野への選択～」サイトにリコチャレ応援団体として、本学の組織概要、理工系部門の紹介および女子高校生等へのメッセージを掲載しました。

内閣府男女共同参画局 HP <http://www.gender.go.jp/c-challenge/index.html>

◇訂正

KIT男女共同参画推進センター通信 ニュースレター第4号（平成26年2月発行）で、中国「KIT男女共同参画推進センター」第3回セミナーを開催しましたの記事、14行目、「研究と仕事の両立」とあるのは、「研究と生活の両立」の誤りでした。訂正します。

～応援します！研究と生活の両立～ ◇京都工芸繊維大学 KIT 男女共同参画推進センター◇

住 所 〒609-8585 京都市左区松ヶ崎鴨町 京都工芸繊維大学2号館南棟1階134号室
TEL・FAX 075-724-7757（内線7757）
Eメール sankaku@kit.ac.jp ホームページ <http://www.sankaku.kit.ac.jp/>

KIT男女共同参画推進センター トップセミナー 「女性研究者支援の推進と大学の活性化」を開催しました。

平成26年7月3日（木）午後、本学60周年記念館2階セミナー室にて、KIT男女共同参画推進センタートップセミナーを開催しました。

このセミナーは、役員や研究科長、学系長、部門長を主な対象として、本学の女性研究者研究活動支援事業をより一層推進し、男女ともにその能力を発揮し働きやすい環境等を実現するために実施いたしました。

森迫KIT男女共同参画推進センター長の挨拶に続き、独立行政法人科学技術振興機構プログラム主管（プログラムオフィサー）の山村康子氏をお招きし、「女性研究者支援の推進と大学の活性化」と題して、ご講演を行いました。

日本の女性研究者の現状や困、文部科学省などによる女性研究者支援策、そしてその成果や大学の活性化について、国内外のデータや先行実践例などを示し、具体的にお話いただきました。

参加者からの質疑応答、古山学長の挨拶ののち、トップセミナーを終了いたしました。

女性研究者研究活動支援事業の最終年度にあたり、事業の推進と目標達成に向けて、有意義な時間となりました。




トップセミナーの様子

講師 山村康子氏



古山学長の挨拶

研究支援員制度の利用報告

出産・育児や介護期にある女性研究者等の研究活動を支援するため、大学院生等を研究支援員として配置することによって、ライオンイベントにおける研究活動の継続・進展を図る本学の両立支援制度です。配偶者が研究職等に就いている男性研究者も利用できます。平成24年度より実施しています。この制度の利用状況を報告します。

○募集案内

平成24年度は11月に、平成25年度は前期と後期に学内公募を行いました。

研究支援員制度利用実績

利用年度	利用教員数	利用事由
平成24年度	10名	育児8名・介護2名
平成25年度前期	12名	育児10名・介護2名
平成25年度後期	12名	育児10名・介護2名

研究支援員制度利用者の声

本制度利用者には利用終了後、支援内容や支援の効果などについて、ご報告いただいています。その利用実績報告書より、利用者の声を一部紹介します。

支援員（大学院生）の声

支援員の仕事を通じて、担当以外の分野にも触れる機会ができて、自分の研究方法に役立った。

研究結果だけではなく、調査や分析の進め方、経路について深く理解できるようになった。

将来教員を目指しているため、実際の授業に関わる仕事ができ、トレーニングになっている。スキルの向上にもつながった。

支援員を経験して、自身の研究へ多角的な視点を取り入れることができた。

女性も男性も同じように仕事をもち、また男性も家庭への参加が増えてきている今、両立されている先生を身近に見ることができて、いい経験になった。

学業に役立つだけでなく、社会人としての基本、時間管理、自己管理の意識を身につけることができた。

※研究支援員制度のご案内、利用状況、利用者の声は、センターHPにも掲載しています。

センターHP → 女性研究者支援 → 研究支援員制度 → 利用者の声

※制度の利用、申し込みについては、KIT 男女共同参画推進センターへお問い合わせください。

利用教員の声

時間のない夕方に、実験やデータ分析をしてもいい、大変助かった。

研究資料の整理及び文献購置などの業務をおこなってもらい、子育てをしながらも研究が進んだ。

子育て中で研究中に割ける時間が限られる中、支援員の配置で効率的に研究を進めることができた。

支援員の補助のおかげで、論文の執筆やシンポジウムを滞りなく実施できた。

子育て中で時間がない中、業務を効率的に進行でき、研究・教育活動に時間を使うことが可能になった。

支援員の配置によって、業務を効率的に進行でき、研究・教育活動に時間を使うことが可能になった。

子育て中で時間がない中、業務を効率的に進行でき、研究・教育活動に時間を使うことが可能になった。

本学女性研究者の在籍データ（平成24年度～平成26年度）

※各年度5月1日現在

○学系別女性教員（常勤）の在籍比率

○職名別女性教員（常勤）の在籍比率

活動報告

●WL Bミニ講座 2014「女性の健康—変化とケア」を開催しました。

平成26年8月25日(月)午後、本学60周年記念館2階セミナー室にて、女性教職員を対象にWL B(ワークライフバランス)ミニ講座2014を実施しました。「女性の健康—変化とケア」と題して、仕事と生活を両立する上で、生涯を通じて変化する女性特有の健康状態やケアについての知識と理解を深める機会として開催しました。



WL Bミニ講座の様子 (講師: 松岡知子氏)

京都府立医科大学医学部看護学科教授の松岡知子先生をお招きして、女性の身体(からだ)のライフサイクル、特に更年期の症状やメカニズム、ホルモン療法、食生活、漢方薬やサプリメントの使用法、運動、睡眠の効果など様々な面からお話しいただきました。

参加者からは女性特有の体調やそのケアについて、より具体的な質問があり、日常的にできる対処法などを教わりました。「更年期障害に向けて心の準備ができました。」「大変になりました。」「子育て、仕事、家事、日々の疲労から脱出をはかるといい機会になりました。」などの感想が寄せられました。

●「KITサイエンスガール1日体験講座」を開催しました。

平成26年8月23日(土)、本学60周年記念館にて、KITサイエンスガール1日体験講座「リケジョの扉—新たな世界を拓く夏」を開催しました。この講座は、本学「(知)の拠点整備事業」地域貢献加速化プロジェクトの一環として、本学女性教員とKIT男女共同参画推進センターが連携して実施したものです。本学の電子システム工学専攻、生体分子工学専攻、物質工学専攻、建築学専攻の女子大学院生が、企画・運営を行いました。

関西地区を中心に6府県18名の女子中高生を対象に、本学の特色を生かしたサイエンスとデザインの体験講座を実施しました。午前部では、電子の光通信実験と化学のオリジナルコスメ実験を、午後部では造形のミニチュア製作を行いました。

続いてのリケジョトークでは、大学での研究や就職先、入試対策などについて、本音トークがぎやかに展開されました。女性教員、女子学生、女子中高生が楽しくふれあひ、学び、理系のワクワク感を味わった、まさにリケジョの扉の夏の貴重な一日となりました。また、平成26年8月24日(日)京都新聞の朝刊に、この講座が紹介されました。



体験講座の様子



インフォメーション

○内閣府「仕事と介護の両立ポータルサイト」の紹介

内閣府 仕事と生活の調和推進室では、仕事と介護の両立に関する各種制度やサービスの情報をわかりやすく紹介しています。

内閣府仕事と生活の調和推進室HP <http://www.cao.go.jp/wlb/ryouritsu/index.html>



～応援します! 研究と生活の両立～ ◎京都工芸繊維大学 KIT 男女共同参画推進センター◎
 住 所 〒 609-8585 京都市左京区松ヶ崎上町 京都工芸繊維大学 2号館南棟1階134号室
 TEL. FAX 075-724-7757 (内線 7757)
 Eメール sankaku@kit.ac.jp ホームページ <http://www.sankaku.kit.ac.jp/>



京都工芸繊維大学

～応援します! 研究と生活の両立～

NEWS LETTER

KIT 男女共同参画推進センター通信

第6号
2014.12

京都市女性活躍加速化事業セミナーにセンター長と女子学生が参加、登壇しました。

平成26年10月26日(日)午後、ウィングス京都で開催されました、京都市女性活躍加速化事業「私が「輝き続ける」ための Girl's Talk」(主催:京都市 京都市)に、本学KIT男女共同参画推進センターの森田センター長と工芸科学研究科建築設計学専攻の和田有未さんが参加、登壇しました。

和光大学現代人間学部教授の竹信三恵子先生のミニ講義「しあわせ」に働くための自分づくり」に続き、次のミニ講座では、竹信先生、本学の森田KIT男女共同参画推進センター長、佛教大学学生・谷口朋美さんが登壇し、大学を越えて語り合う女子学生の「就活」と「キャリア形成」について討議しました。

そのあと、本学応用生物学課程2回生・満口恵美さんはじめ、参加女子学生全員がワールドカフェスタイルで、「しあわせ」に働くために」をテーマに見聞交換を行いました。女性が働くことの現状、労働環境、家庭生活、ネットワーク作り、備前、生き方などについて、あらたな気づきや発見が発表されました。仕事や将来のキャリア、パートナー、家事・育児などについて、京都の他大学女子学生と一緒に考えるまたとない機会となりました。



座談会で発言する森田センター長



座談会で発言する本学・和田有未さん



ワールドカフェの様子 (中興: 本学・満口恵美さん)



京都市女性活躍加速化事業セミナーの様子

KIT男女共同参画推進センター 第6回セミナーを開催しました。
「未来を創る理系のキャリアデザイン—その生かし方」

平成26年10月10日(金)午後、本学60周年記念館2階大セミナー室にて、KIT男女共同参画推進センター第6回セミナーを開催しました。このセミナーは、本学で平成22年度より実施している「男女共同参画社会を実現するための教育プログラム」との共同企画によるものです。

理系の仕事やキャリアデザイン、仕事と生活の両立(ワークライフバランス)をテーマに、企業や研究機関で働く先輩女性の体験談を伺いました。

森田センター長の開会の挨拶に続き、本学卒業生で株式会社イトーキにお勤めの藤田奈津子氏より、「子育てと仕事と日々のいらい」と題して、ご講演いただきました。

ご自身の仕事、結婚、出産、育児の実体験から両立方法や転勤・異動など環境の変化への対処法などをお話いただきました。子育てのみならず、東日本大震災を機に行っているボランティア活動や社外のコミュニティ活動に関わるようになり広がった視点やネットワークの例など、学生にとっても身近なロールモデルとして参考になるお話でした。

引き続き、「多様なキャリアの生かし方」と題して、株式会社大塚製薬工場ライセンス部の藤原 貴氏にご講演いただきました。お子さんを育てながら海外勤務をこなした公務員時代から、民間企業での海外法人設立経験などそのノウハウも多岐にわたる参加者が刺激を受けました。現在、女性管理職として社内外からの注目も高い藤原さんからは、男女ともに目の前の仕事にベストを尽くしながら、夢や目標をもって仕事を続けていく大切さを学びました。

最後に、「男女共同参画社会を実現するための教育プログラム」を代表して、本学大学院工芸科学研究科教授の亀井加恵子先生に開会の挨拶をいただき、セミナーは終了しました。

セミナー終了後は交流会を行い、講師の方と積極的な意見交換を行いました。「お二人ともとても力強く、キャリアを積まれていると感じました。」「パワーをいただきました。」「将来の視野が広がりました。」「笑顔のトレーニング」私もプレゼンの前にもうとしたいと思います」など多数の感想が寄せられました。

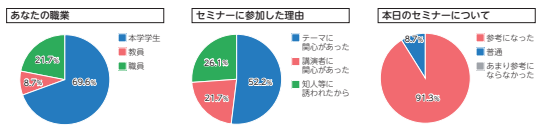


講演の様子・講師: 藤田奈津子氏



講演の様子・講師: 藤原 貴氏

アンケート結果 ※アンケート回収率 53.5%



KIT男女共同参画推進センター 第7回セミナーを開催しました。
「未来を創る理系のキャリアデザイン—その多様性と可能性」

平成26年11月11日(火)午後、本学60周年記念館2階大セミナー室にて、KIT男女共同参画推進センター第7回セミナーを開催しました。

森田センター長の開会の挨拶に続き、IT/ナノテクノロジー株式会社・先端研究本部部長の山田由佳氏に「できる」を「できない」に...その感覚がやみつきに」と題して、ご講演いただきました。仕事と生活を両立させながら、まだ世に出ないような高い技術をつなげる新たな技術を「創造」することをミッションに研生活に打ち込む日々。失敗を恐れず、「できた」ときの感動、快感を味わう醍醐味にやみつきになりながら、若いメンバーとともにチャレンジする研究姿勢を伺いました。

次に「人と技術のやさしい未来—志による社会変革」と題して、同志社大学大学院教授で株式会社ユーティット(情報ユニバーサルデザイン研究所)会長の関根千佳氏にご講演いただきました。

社会は多様な年代、状況の人々で構成されていて、多様なニーズをもつ人がいます。誰もが使いやすく、暮らしやすいICTデザイン・ユニバーサルデザインは、子どもや高齢者、障がい者などが生活して「困った」「わからない」の視点(ニーズ)が、大きなイノベーションに結び付けていくことを改めて教えていただきました。

最後に、本学大学院工芸科学研究科電子システム工学部教授で学長補佐の大柴小枝子先生に開会の挨拶をいただき、参加者で記念撮影を行い、セミナーは終了しました。

セミナー終了後は、交流会を行い、講師の方と研究やキャリア形成、ワークライフバランスなどについて、意見交換を行いました。「エネルギーのサステナビリティ、ICTを活用したイノベーション、今後の活力を感じました。」「自分も来年から社会に出るので、今回のセミナーで身が引き締まりました。」「自分の発想にない考えを聞くことができて大変参考になりました。」など多数の感想が寄せられました。

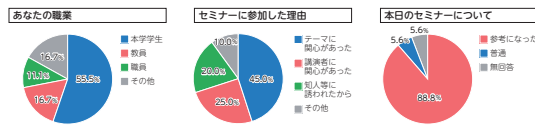


第7回セミナーの様子



講師(前左から4人目・関根千佳氏、その隣・山田由佳氏)を囲むセミナー参加者

アンケート結果 ※アンケート回収率 43.9%



◆平成 26 年度活動報告 女性教職員のネットワーク構築◆

【学内交流会等実施一覧】

会 名	開催日	開催場所	参加者数
交流会	4月18日(金)	KIT 交流サロン	8名
	11月19日(水)	KIT 交流サロン	5名
ランチミーティング	6月24日(火)	KIT 交流サロン	3名
	7月24日(木)	KIT 交流サロン	5名
	9月19日(金)	KIT 交流サロン	2名

女性教員交流会

平成 26 年 4 月 18 日 (金)、11 月 19 日 (水)、理系のキャリア形成や仕事と生活の両立、リケジョの裾野拡大や次世代育成、女子大学院生へのキャリアパス支援などについて、KIT 交流サロンで女性教員の方々と意見交換を行いました。ネットワークを広げる貴重な機会となりました。

ランチミーティング

平成 26 年 6 月 24 日 (火)、7 月 24 日 (木)、9 月 19 日 (金) のお昼休みに、ランチミーティングを行いました。

KIT 交流サロンにて、子育てや介護の話、ストレス解消法、女性特有の身体(健康)の変化、思春期の心の問題、昨今の学生事情など、女性同士で気軽に幅広い語らいができました。

今回初めて参加していただいた先生もいて、このランチミーティングが分野を超えて交流を広げる良い機会となりました。

KIT 交流サロン利用状況

※平成 27 年 2 月末現在

○利用のべ人数：242 人

女性 197 人 男性 45 人

教職員 118 人 学生 96 人 その他 28 人

○主な利用内容：交流会 3 件

ミーティング 30 件

相談 3 件

図書閲覧 1 件

ランチ休憩 1 件

その他 5 件

◆平成 26 年度活動報告 学外ネットワーク構築◆

京都女性活躍加速化事業へ参画

平成 26 年 10 月 26 日（日）午後、ウイングス京都（京都市）で開催されました、京都女性活躍加速化事業「私が“輝き続ける”ための Girl's Talk」（主催：京都府 京都市）に、KIT 男女共同参画推進センター長と本学女子学生が参加、登壇しました。

京都府内に在学的女子大学生と仕事観・結婚観・人生観などについて講義や座談会、ワールドカフェで討論を行い、女性の働き方、生き方について考えを深めました。仕事や将来のキャリアプラン、パートナー、家事・育児などについて、一緒に考えるまたとない機会となりました。



4 大学連携研究フォーラムへポスター出展

平成 26 年 12 月 2 日（火）午後、教養教育共同化施設（稲盛記念会館）で開催されました、平成 26 年度 4 大学（京都薬科大学・京都府立医科大学・京都府立大学・京都工芸繊維大学）連携研究フォーラムにポスター出展し、センターの取り組みを紹介しました。

三大学教養教育共同化授業で取組紹介

平成 26 年 7 月 24 日（木）午後、京都府立大学で行われました三大学（京都府立大学・京都府立医科大学・京都工芸繊維大学）教養教育共同化授業「現代社会とジェンダー」において、本学の女性研究者支援や男女共同参画推進の取り組みについて、センターコーディネーターが説明しました。

他大学・関係機関との意見交換、交流

名古屋工業大学

一橋大学

京都府立大学

京都府立医科大学

公益財団法人京都市男女共同参画推進協会 他

（順不同）

◆平成 26 年度活動報告 理系女子の裾野拡大◆

女子中高生対象「KIT サイエンスガール 1 日体験講座」の実施

平成 26 年 8 月 23 日（土）、本学 60 周年記念館 2 階・大セミナー室にて、「KIT サイエンスガール 1 日体験講座 リケジョの扉—新たな世界を拓く夏」を開催しました。

この講座は、大学 COC 事業・地域貢献加速化プロジェクトの一環として、本学女性教員と KIT 男女共同参画推進センターが連携して実施したものです。企画、実施運営は、本学女子大学院生が担当しました。

関西地区を中心に 6 府県 18 名の女子中高生が参加し、女性教員へのインタビューや電子の光通信実験、化学のオリジナルコスメ実験、造形のミニチュア製作を体験しました。また、リケジョトークでは大学での研究や就職先、入試対策などについて、本音トークがにぎやかに展開されました。最後に、女子大学院生から参加した女子中高生へメッセージをおくり終了しました。

女性教員、女子学生、女子中高生が楽しくふれあい、学び、理系のワクワク感を味わった、まさしくリケジョ達の夏の貴重な一日となりました。

アンケートでは、受講者の 89%が「かなり良かった」、11%が「良かった」と回答し、受講者の高い満足が感じ取れました。受講者からは、「光通信の実験で音楽が光にかわるのにおどろきました。」「いろんな分野の体験ができて楽しかったです。」「工繊大について知ることができて良かったです。また参加したい。」「頑張ってまた大学生として来たい。」など多数の感想が寄せられました。平成 26 年 8 月 24 日（日）京都新聞の朝刊に、この講座が紹介されました。



オープニング



教員インタビュー



体験講座の様子



リケジョトーク

○ KIT サイエンスガール 1 日体験講座 WEB 体験版を公開

URL <http://www.cis.kit.ac.jp/~optlab/rikejyo2014/>



京都工芸繊維大学における女性の割合

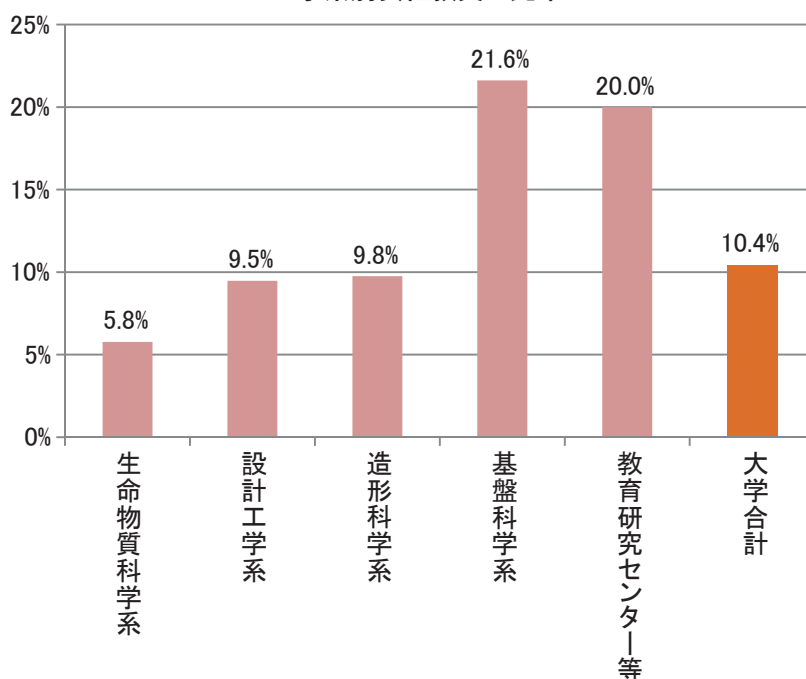
【女性研究者（常勤教員）の在籍比率データ（平成 26 年度）】

※ 5 月 1 日現在

学系別在籍比率

学系等	全体（人）	女性（人）	女性／全体（％）
生命物質科学系	104	6	5.8%
設計工学系	95	9	9.5%
造形科学系	41	4	9.8%
基盤科学系	37	8	21.6%
教育研究センター等	20	4	20.0%
大学合計	297	31	10.4%

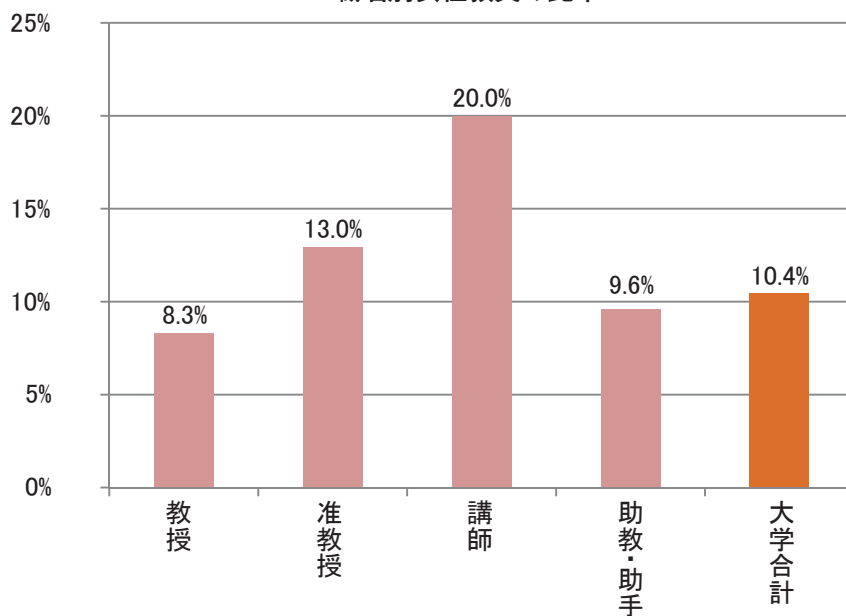
学系別女性教員の比率



職名別在籍比率

職名	全体（人）	女性（人）	女性／全体（％）
教授	132	11	8.3%
准教授	108	14	13.0%
講師	5	1	20.0%
助教・助手	52	5	9.6%
大学合計	297	31	10.4%

職名別女性教員の比率

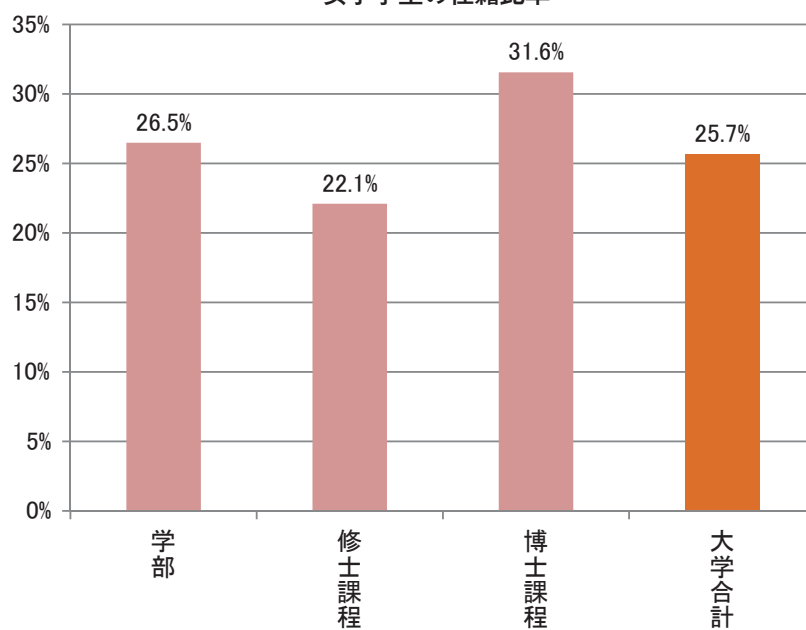


【女子学生の在籍比率データ（平成 26 年度）】

※ 5 月 1 日現在

所 属	全体 (人)	女性 (人)	女性 / 全体 (%)
学 部	2,858	757	26.5%
修士課程	991	219	22.1%
博士課程	206	65	31.6%
大学合計	4,055	1,041	25.7%

女子学生の在籍比率



KIT男女共同参画推進センター参考図書

男女共同参画やワークライフバランス、育児・介護、理系キャリアに関する図書、DVDなどを取り揃えました。貸し出しも行っていきます。

蔵書数：図書 102冊・DVD 4セット

【KIT男女共同参画推進センター参考図書（一例）】

図書名	著者・編者	出版社	発行年
男女共同参画白書 平成26年版	内閣府男女共同参画局	全国官報販売協同組合	2014年
子育てがプラスを生む「逆転」仕事術	小室淑恵	朝日新聞出版	2014年
女のからだ フェミニズム以降	荻野美穂	岩波新書	2014年
おさなごころを科学する	森口佑介	新曜社	2014年
育児に悩んでいます：うちの子、どこかへんかしら？	シンディ・シンガー シェリル・グレンツ	星和書店	2014年
「産む」と「働く」の教科書	齊藤英和・白河桃子	講談社	2014年
忙しいビジネスマンのための3分間育児	おおたとしまさ	ディスカヴァー携書	2013年
子どもの心のコーチング	菅原裕子	PHP文庫	2007年
完全図解 新しい介護 全面改訂版	大田仁史・三好春樹 監修・編著	講談社	2014年
迫りくる「息子介護」の時代	平山 亮	光文社新書	2014年
高学歴女子の貧困	大理奈穂子・栗田隆子・大野左紀子・水月昭道	光文社新書	2014年
妹たちへ	日経WOMAN 編	日経ビジネス人文庫	2008年
妹たちへ 2	日経WOMAN 編	日経ビジネス人文庫	2014年
ビジネス・ゲーム —誰も教えてくれなかった女性の働き方—	ベティ・L・ハラガン	知恵の森文庫	2009年
母という病	岡田尊司	ポプラ新書	2014年
女子の人間関係	水島広子	サンクチュアリ出版	2014年
こころのふしぎ なぜ？どうして？	大野正人 原案・村山哲哉 監修	高橋書店	2013年
スローなユビキタスライフ	関根千佳	地湧社	2005年

【DVD】

タイトル	著者・編者	出版社	発行年
ワークライフバランス	佐藤博樹・小室淑恵 監修	日本経済新聞出版	2009年
関係づくりで子育て支援		日本女性学習財団	2010年
産休・育休ガイドシリーズ ① 産休・育休の基礎知識 ② 仕事と育児両立のポイント ③ 産休・育休への対応と男性の育休	河野真理子・安藤博子・渥美由喜 監修	日本経済新聞出版	2010年
基本介護技術（3枚組） A：やさしい介護の基本 B：清潔な身だしなみ C：いのちを支えるために		介護労働安定センター	2007年

KIT 男女共同参画推進センター構成【平成 26 年度】

センター長（理事・副学長）	森迫 清貴
コーディネータ	森山 文恵
事務補佐員	久米由美子
○室員	
理事・副学長	森 肇
理事・事務局長	小原 康伸
工芸科学研究科長	松野 謙一
教育研究推進支援機構長	山口 政光
生命物質科学系長	原田 俊郎
生体分子工学部門教授	亀井加恵子
電子システム工学部門教授	大柴小枝子
言語・文化部門准教授	竹井 智子
人事労務課長	坂口 義美
研究推進課産学連携室・知的財産係長	三宅 由華

※平成 26 年 4 月 1 日現在

発行 平成 27 年 3 月

国立大学法人京都工芸繊維大学 KIT 男女共同参画推進センター

住 所 〒 606-8585 京都市左京区松ヶ崎橋上町
京都工芸繊維大学 (2 号館 南棟 1 階 134 号室)

電話 & FAX 075-724-7757

ホームページ <http://www.sankaku.kit.ac.jp/>

E-mail sankaku@kit.ac.jp



京都工芸繊維大学
KYOTO INSTITUTE OF TECHNOLOGY